

社会的・職業的自立のための 大学教育のあり方 Part II

～大学の取り組みに学ぶ～

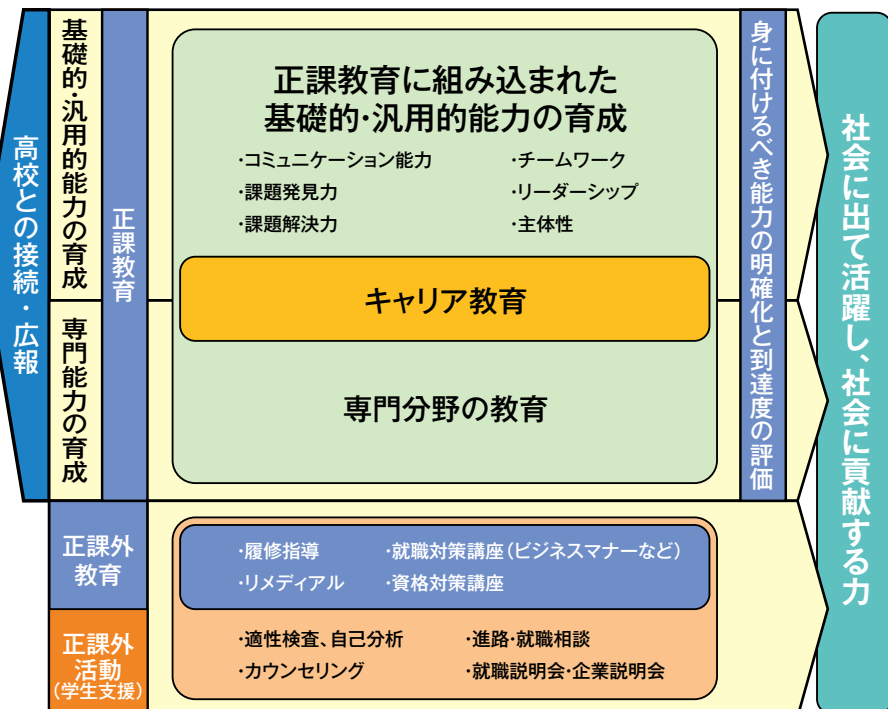
2011年4月から

「大学における社会的・職業的自立に関する指導等(キャリアガイダンス)」が義務付けられ、社会で活躍できる人材育成が課題となっている。
10-11月号に続き、この重要課題を掘り下げる企画の第2弾として、法令化以前から、正課内外の教育や学生支援を通じた独自の取り組みによって人材育成を図っている大学の事例を紹介する。

大学での育成が期待される「社会で活躍する力」

【進路指導情報】

- その大学では、本当に就業力が教育されているか(汎用的能力の教育力)
- そのしくみは?
- 大学・学部(専門)で何が学べるか
- 学部・学問はどのような職業と関連するか
- 入試難易度
- 就職率
- 施設・学費・面倒見のよさなど
- ブランド



※中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)の資料を基にベネッセ教育研究開発センターが作成